

しなやかに凛として、 あなたの明日を切り開く女性たれ

私たちがめざすのは、単なる「就職力」ではありません。女性の人生は単線ではありません。何があってもどこにあっても精神的、経済的自立をめざして地域・社会で自分の力を発揮し、活躍し続けることが大切です。どこにあっても“なくてはならない人”として輝く女性がこの大学から社会へ巣立っていくことを願っています。

教育の「きめ細かさ」 すべての調査項目で満点！

朝日新聞・河合塾による調査「朝日新聞」2017年12月12日朝刊

全国の社会科学系学部の大学における、教育の「きめ細かさ」が分析されました。「課題解決型授業の実施」「初年次ゼミの必修化」「卒業論文・卒業研究の必修化」などの10の取り組みすべてにおいて、恵泉は満点を獲得。満点だった大学・学部は全国で13しかなく、しかも女子大は恵泉だけです。

「国際性」 2年連続 首都圏女子大第1位！

「THE 世界大学ランキング日本版 2018」

英国の教育専門誌「Times Higher Education」がベネッセグループと協力し、日本の大学の「国際性」を調査しました（指標は「日本人学生の留学比率」「外国語で行われる授業の比率」「外国人教員比率」「外国人学生比率」）。恵泉は全国大学中42位にランクイン。首都圏女子大では、2年連続1位となりました（2位は津田塾大学）。

少人数教育 ゼミアドバイザー

全員が1年次から4年次まで10名前後のゼミに所属。ゼミ教員は、一人ひとりの個性を磨き、豊かな知性を育むために、きめ細かな授業を展開しています。そして、学生生活全般に関するアドバイスや相談も行っています。ゼミ以外にも、全授業科目の90%が履修者50名以下（うち60%が20名以下）です。

多くの学生が「学生と教員との距離の近さ」を実感しています。少人数教育が本学の伝統です。



学年担任 サポーター制度

高校と大学では、学び方や生活の仕方が大きく異なります。入学したすべての学生に、自分を成長させる健やかな学生生活を送ってほしいと願い、学年担任制を導入しました。学年担任は、学期や学年ごとに担当教員が替わる授業やゼミと異なり、同一の教員が在学中担当することにより、卒業までの4年間を通してきめ細かな指導とサポートを行います。



生涯就業力を磨く

（未来を切り開き、他者

と「恵泉」はどのような大学なのか）く生きていく
つくり出す授業で一生涯を通じて必要となる教養

「恵泉ブランド」

と共に生き抜く力）

うえて何が必要で大切なのか）生涯就業力の基礎を
・スキルを習得します。

個の賜物を磨き世に出る準備をする

⑥ 自己探究チャレンジ（卒業課題）

全員必修。4年間で学んだ生涯就業力の集大成として卒業論文に挑戦し、自分に授かった賜物を最大限に磨き表現します。



実践的な語学力をつける

④ Global Challenge Program

英語をより深く学びたいという希望者への特設選抜プログラムです。卒業までに、TOEIC® 800点以上をめざします。



課題を解決し社会に貢献できる人へ

⑤ 恵泉実体験プロジェクト

社会での実体験（約110の活動）を基に、企画・実施・評価等をチームで行い、問題解決力と社会貢献力を培います。



学びの基礎をつくる

② 恵泉の教養

1・2年次のゼミ・学部専門基礎等を学び、専門学修コース選択の基礎になる教養を身につけます。



社会人としての基礎を築く

③ 恵泉の就業力

自分の生き方を想定したライフデザインを描き、社会が必要とされている基礎的なスキルを身につけ、さらに磨きます。



生涯の礎とすることを

① 恵泉の3つの礎（聖書・国際・園芸）

聖書・国際・園芸より、恵泉女子園大学を理解し、学び方の基礎と実践、そして生涯を通じて必要な生き方を学びます。



いちわざ 一技卒業全員保証

「しなやかに凛として生きる」生涯就業力の基礎です。そのためにはいずれの時にあっても、課題に挑戦し、失敗を恐れず努力に裏付けられた自己肯定感が重要です。一技卒業とは、一技特別講座への参加などによって、自分なりに目的意識をもって努力し、ひとつの技を成し遂げたことに対する本学独自の認定証を授与する制度です。



例）おもてなしの作法
・発想の仕方と
まとめる技法

女子大ならではの 生涯就業力サポート

私たちが考える「生涯就業力サポート」は、在学中にキャリア形成をして社会に出る準備をすることです。社会人となった後は、大学やNPO法人*で相談事業・企業支援・育成講座等を実施し、卒業後もキャリアアップを図る卒業生のために積極的にサポートを行います。



*NPO法人あい・ぼーとステーション
(2017年1月30日、地域社会の発展強化をめざす人材育成を協力しながら担っていくために、本学と協定を締結しました。)